次世代育成支援対策振興法及び女性活躍推進法に基づく
学校法人鎮西学院行動計画

次のように行動計画を策定する。

○計画期間 令和7年4月1日～令和10年3月31日(3年間)

目標① 計画期間内に、育児休業取得 男性職員1名以上、女性職員100%を目指す。

<対策>

令和7年4月～ ○各所属単位における育児休業者等の業務カバー体制の検討
(代替要員の確保、業務体制の見直し、等)

令和7年6月～ ○育児休業の取得しやすい環境醸成の為、各制度の周知を徹底する。
(対象者には、個別に説明を行う。【随時】)

目標② 門業務型裁量労働制並びに1年単位変形労働時間制を有効に活用し、総労働時間を
1820時間以下への縮減を目指す。

<対策>

令和7年4月～ ○所属単位の業務量見直し、事務効率化・機構改革等の検討

令和7年8月～ ○SD研修等で教職員の意識改革を行うとともに各所属の改善計画を策定。

目標③ 各所属で、年次有給休暇の取得得率50%以上を目指す。

<対策>

令和7年4月～ ○年次有給休暇の取得状況の把握及び現状周知。

令和7年6月～ ○個人単位等の計画年休を策定。

令和7年8月～ ○管理職が、所属職員の年休取得状況を把握(年3回)し、取得を促す。